

玉置神社

人里遠く離れ、交通極めて不便な紀伊半島の中央部吉野熊野のやまなみ雲海はるか太平洋を遠望する霊峰玉置山、標高1,000メートルの境内には神代杉をはじめ樹齢3,000年といわれる老樹大樹が社と成りその懐に抱かれるように、荘厳な玉置神社の社殿が鎮座しています。春には山の樹木がいつせいに芽吹き初夏にしゃくなげが咲き誇ります。夏には大峰奥駆の修験者で賑わい、秋は秋祭り紅葉、冬は樹氷や霧氷の世界、四季折々それぞれの魅力があり全国から数多くの人々が心の安らぎと充実を求めてこの地を訪れます。

*

- ◎神武天皇東征の際熊野に上陸後八咫鳥の先導にて、この宮で兵をやすめたと伝えられています。
- ◎紀元前37年崇神天皇、王城火防鎮護と悪魔退散の為、早玉神を奉祀されました。以来玉置となづけられました。
- ◎7世紀後半、役行者が大峰山を開いて修験道の本拠地となります。玉置山は、大峰入峰修験の順峰逆峰双方向の拠点として栄え、山伏姿の修験者の往来が増えてきます。
- ◎天安2年(858年)天台宗智証大師が、那智の滝にこもり後当山にて修法加持し本地仏を祭られました。これより以後玉置神社は神仏混淆となりました。
- ◎神武天皇・景行天皇・天武天皇・清和天皇をはじめ花山院・白河院・後白河院・後嵯峨院などが参拝行幸されたと伝えられ、創建以来元禄年間まで十数回の造営修復はすべて国費をもって行われました。また役行者・弘法大師・智証大師などもこの地で修行されました。

*

交通・JR和歌山線五条駅又はJR紀勢本線新宮駅からバスにて十津川温泉下車タクシーで玉置神社駐車場へ駐車場から徒歩二十分で玉置神社へ
国道168号線十津川温泉から(山道)を徒歩で三時間玉置神社へ

【玉置神社附近略図】



鎮 座 地 奈良県吉野郡十津川村玉置川一番地

御 祭 神

本社・玉置神社 (たまきじんじや) 国常立尊・くにとこたちのみこと
 伊弉諾尊・いぎなぎのみこと
 伊弉册尊・いぎなみのみこと
 天照大御神・あまてらすおおみかみ
 神日本磐余彦尊・かむやまといわれひこのみこと

摂社・三柱神社 (みはしらじんじや) 倉稻魂神・うがのみたまのかみ
 天御柱神・あめのみはしらのかみ
 国御柱神・くにのみはしらのかみ

末社・玉石社 (たまいししゃ) 大己貴命・おおなむちのみこと
 出雲霊社・若宮社・神武社・水神社・大日社・白山社などのやしろがあります。

*

例 大 祭 神輿渡御や神楽奏舞 もちまき 等が行われ参拝者で賑わいます。
 本社・玉置神社 10月 24日
 摂社・三柱神社 3月初午の日

重要文化財

社務所

山間の傾斜地に立てたため懸造で、内部造作に杉の一枚板の襖に狩野派の絵師による極彩色の絵が描かれており、透かし欄間や違い棚トコなど洗練されたものがあります。

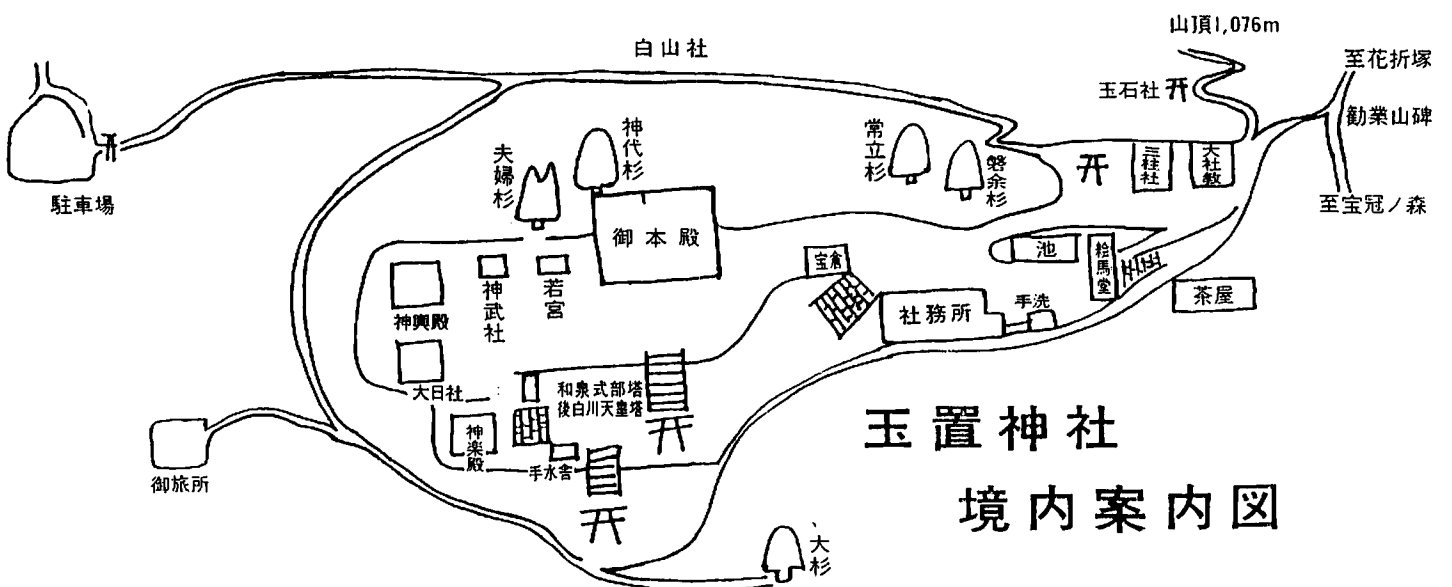
梵 鐘

宇治川の先陣争いで有名な佐々木高綱の寄進 現在十津川歴史民族資料館に展示してあります。

天然記念物

杉の巨樹群

神代杉を筆頭に夫婦杉 大杉 常立杉 磐余杉など目通り14メートル以上樹高50メートルにも達する 樹齢推定三千年の古木が叢生しています。



玉置神社 境内案内図